

戸建住宅のZEHレベルの省エネ改修で最大**512,700円**もらえる



住宅エコリフォーム推進事業

交付申請の受付期間：2022年9月14日～2023年1月13日

住宅エコリフォーム推進事業とは

ZEH仕様基準を満たす、高い省エネ性能への改修工事に対する補助金制度です

対象工事として「**全体改修・建替え**」と「**部分改修**」があります

【補助上限額】

戸建住宅 ⇒ **512,700円 / 戸**

(共同住宅⇒2,500円 / ㎡、マンション※⇒3,700円 / ㎡)

【補助率(省エネ改修)】

戸建住宅等 ⇒ **11.5%** マンション※ ⇒ **1/6**

【「部分改修」の場合】

複数(2箇所以上)の開口部改修工事から申請可能

※共同住宅のうち耐火建築物又は準耐火建築物であって、延べ面積が1,000㎡以上であり、かつ、地階を除く階数が3階以上のものです

断熱改修

外壁

最大 **273,000円** / 箇所の補助(戸建・部分改修・区分F・モデル工事費ベース)

～こどもみらい住宅支援事業の断熱材改修工事補助上限額：51,000円

屋根・天井

最大 **109,000円** / 箇所の補助(戸建・部分改修・区分F・モデル工事費ベース)

～こどもみらい住宅支援事業の断熱材改修工事補助上限額：18,000円

床

最大 **326,000円** / 箇所の補助(戸建・部分改修・区分F・モデル工事費ベース)

～こどもみらい住宅支援事業の断熱材改修工事補助上限額：30,000円

分類

要件(部分工事：必須工事)

全体改修

- 断熱等性能等級5かつ一次エネルギー消費量等級6となるものでBELS等の第三者評価の認証を取得するもの
※再生可能エネルギーの導入は要件としない

建替え

- 断熱等性能等級5かつ一次エネルギー消費量等級6となるものでBELS等の第三者評価の認証を取得するもの
※再生可能エネルギーの導入は要件としない
- 対象建物が建替えであることを証明する所定の書類を提出できるもの

部分改修 全体改修の要件に 適合しないもの

- 【必須】複数の開口部(補助対象製品)についてZEH仕様基準を満たすよう改修する工事
- 上記の必須工事と併せて実施することで対象となる工事 ▶ ZEH仕様基準を満たす躯体の断熱改修工事

補助対象製品は
「**省エネ建材型番
データベース**」より
ご確認ください。

CHECK

補助額 外壁、屋根・天井又は床の断熱改修のモデル工事費

補助額の算出(戸建住宅の場合) ※設備の効率化工事は、開口部・躯体等の断熱化工事と同額以下とする

全体改修・建替え

下記①②のうち、低い方が適用されます

- ① 実際の工事費 × 補助率
- ② 補助上限額

部分改修

下記①～③のうち、低い方が適用されます

- ① モデル工事費 × 補助率(11.5%)
- ② 実際の工事費 × 補助率(11.5%)
- ③ 補助上限額

最大補助額：**512,700円**
(戸建住宅の場合)

最低補助額：**50,000円**

※申請する補助額の合計が50,000円未満では補助の対象になりません

外壁、屋根・天井又は床の断熱改修のモデル工事費 ※実際の工事費がモデル工事費より安い場合は補助額も低くなります。

戸建住宅

部位	断熱材の区分	熱伝導率 【単位：W/m・K】	モデル工事費 (円/㎡)
外壁	A～C	0.052～0.035	182,000
	D～F	0.034以下	273,000
屋根・天井	A～C	0.052～0.035	64,000
	D～F	0.034以下	109,000
床	A～C	0.052～0.035	217,600
	D～F	0.034以下	326,000

共同住宅

部位	断熱材の区分	熱伝導率 【単位：W/m・K】	モデル工事費 (円/㎡)
外壁	A～C	0.052～0.035	624,000
	D～F	0.034以下	963,000
屋根・天井	A～C	0.052～0.035	93,000
	D～F	0.034以下	140,000
床	A～C	0.052～0.035	253,000
	D～F	0.034以下	422,000



躯体の断熱改修 (戸建・熱抵抗値R値)

■フェノバポート ■フェノバポートR ■フクフォームEco

詳細はこちらから



構造	部位		地域区分ごとの熱抵抗の基準値 (単位: m ² ・K/W)							
			当社製品の厚み (mm)							
			1 ～ 2地域		3地域		4 ～ 7地域		8地域	
			充填	外張・内張	充填	外張・内張	充填	外張・内張	充填	外張・内張
木造	屋根又は天井	屋根	6.9	6.3	5.7	4.8	5.7	4.8	1.0	0.9
			140mm以上	120mm以上	110mm以上	100mm以上	110mm以上	100mm以上	20mm以上	20mm以上 20mm
		天井	5.7	6.3	4.4	4.8	4.4	4.8	0.8	0.9
			110mm以上	120mm以上	90mm以上	100mm以上	90mm以上	100mm以上	20mm以上	20mm以上 20mm
	壁		4.0	3.8	2.7	3.8	2.7	3.8	—	3.8
			80mm以上	80mm以上	60mm以上	80mm以上	60mm以上	80mm以上	—	80mm以上
	床	外気に接する部分	5.0	4.5	5.0	4.5	3.4	4.5	—	4.5
			100mm以上	90mm以上	100mm以上	90mm以上	80mm以上	90mm以上	—	90mm以上
		その他の部分	3.3	—	3.3	—	2.2	—	—	—
			63mm以上	—	63mm以上	—	45mm以上 80mm	—	—	—
	土間床等の外周部分の基礎壁	外気に接する部分	3.5	3.5	3.5	3.5	1.7	3.5	—	3.5
			80mm以上	80mm以上	80mm以上	80mm以上	35mm以上	80mm以上	—	80mm以上
		その他の部分	1.2	3.5	1.2	3.5	0.7	3.5	—	3.5
			25mm以上	80mm以上	25mm以上	80mm以上	15mm以上	80mm以上	—	80mm以上

《 参考資料 》 こどもみらい住宅支援事業との補助要件の比較 (部分改修)

	住宅エコリフォーム推進事業	こどもみらい住宅支援事業
補助対象	①と②と③～⑤は併用可とし、④⑤を申請する場合③を必須とする。 ①省エネ診断 ②省エネ設計等 ③窓・ドアの断熱改修 ④外壁・屋根・天井又は床の断熱改修 ⑤エコ住宅設備の設置	①～③はいずれか必須とし、④～⑧は任意とする。 ①窓・ドアの断熱改修 ②外壁・屋根・天井又は床の断熱改修 ③エコ住宅設備の設置 ④子育て対応改修 ⑤バリアフリー改修 ⑥空気清浄機能・換気機能付きエアコンの設置 ⑦耐震改修 ⑧リフォーム瑕疵保険等への加入
補助額	リフォーム工事ごとに算出した補助額の合計 ●最低: 5万円 (診断のみの場合 1万円) ●最大: 戸建住宅 512,700円/戸 共同住宅 2,500円/m ² マンション 3,700円/m ²	子育て世帯・若者夫婦世帯による住宅の新築 ①(必須) 住宅の省エネ改修 ②(任意) 住宅の子育て対応改修、耐震改修、バリアフリー改修 空気清浄機能・換気付きエアコン設置工事 ※子育て世代・若者夫婦世帯: 上限45万円/戸 ※安心R住宅の購入を伴う場合: 上限45万円/戸
補助額算出	<補助率> ●省エネ診断 1/3 ●省エネ設計等 1/3 ●省エネ改修 戸建住宅等 11.5% マンション 1/6 省エネ改修は、下記①～③のうち、最も低い額とする。 ①モデル工事費 × 補助率 ②実際の工事費 × 補助率 ③補助上限額	リフォーム工事ごとに補助額を設定
躯体の断熱改修	ZEH仕様基準レベルを満たす躯体の断熱改修	省エネ基準レベルを満たす躯体の断熱改修
開口部の断熱改修	ZEH仕様基準レベルを満たす開口部の断熱改修	省エネ基準レベルを満たす開口部の断熱改修
対象のエコ住宅設備	●太陽熱利用システム ●ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機 (ハイブリッド給湯機) ●電気ヒートポンプ給湯機 (エコキュート) ●潜熱回収型石油給湯機 (エコフィール) ●潜熱回収型ガス給湯機 (エコジョーズ) ●燃料電池システム (エネファーム) ●ガスエンジン・コージェネレーション ●高断熱浴槽 ●浴室シャワーの節湯水栓 ●蓄電池 ●LED 照明	●太陽熱利用システム ●ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機 (ハイブリッド給湯機) ●電気ヒートポンプ給湯機 (エコキュート) ●潜熱回収型石油給湯機 (エコフィール) ●潜熱回収型ガス給湯機 (エコジョーズ) ●高断熱浴槽 ●節湯水栓

●お問合せ



フクビ化学工業株式会社

本社/福井市三十八社町33-66 ☎(0776) 38-8013 〒918-8585
札幌 盛岡 仙台 宇都宮 北関東 千葉 東京 神奈川
新潟 北陸 静岡 名古屋 京都 大阪 岡山 広島
福岡 鹿児島 沖縄

<https://www.fukuvi.co.jp>

[PDFA102] 2022.10 ㊞

※内容が変更される可能性もありますので、最新の情報は住宅エコリフォーム推進事業のHPをご確認ください。

FUKUVI